

<熊本支部例会事前抄録>

日時:2021年5月25日(火)19:30～

会場:ZOOMミーティング

- 一般講演抄録 1-

P.E.T.は『逃げ』なのか？

川口 孝 川口歯科医院 〒861-8039 熊本市東区長嶺南1-2-189

■抄録

審美領域の歯を抜去し、修復する場合、術前の患者の期待を超える審美性、機能性で再建をすることが我々の創造性の発揮される場所である。

今回は P.E.T. (部分抜歯療法) を用いた 2 症例について、その経過を呈示する。

1) 26 歳男性、上顎前歯部叢生による審美障害を主訴に受診。治療に際し、治療期間、回数ともに確保不可能で、補綴的解決を希望したため、説明により同意を得た後、両側犬歯便宜抜去、両側側切歯 P.E.T. (部分抜歯療法) と、修復によりオールセラミック・ブリッジを装着し、メンテナンスに移行した。

2) 53 歳女性、右上側切歯動揺と歯肉腫脹を主訴による受診。右上側切歯はブリッジ支台であったが、歯根内部吸収を生じていた。右上中切歯欠損、左上中切歯および側切歯は失活歯で予後不良と判断し、上顎左右側切歯抜歯後即時にインプラント埋入、左上中切歯 P.E.T. (部分抜歯療法) を適用し、歯冠修復をする計画を説明し同意を得た。半年以上のインプラント免荷期間を経て、最終補綴としてオールセラミック・ブリッジを装着しメンテナンスに移行した。

発表内容に関し、開示すべき COI 関係にある企業等はない。